

2020年10月27日(火)【外為Lab】松田哲

タイトル:【米国大統領選挙まで、1週間】

米国大統領選挙まで、1週間となった。

事前の予想では、バイデン候補の優勢が伝えられているが、トランプ大統領が、追い上げている旨も伝えられている。

前回の米国大統領選挙でも、その終盤において、クリントン候補の優勢が伝えられ、トランプ候補が劣勢であった。

それにもかかわらず、最終的には、トランプ氏が大統領に当選した。

「今回の大統領選挙でも、同じことが起こるのではないか？」
と疑心暗鬼になり、バイデン候補が優勢でも、選挙の結果を見るまで、判断できずにいる。

多くの人たちが、上述のように、考えているのだろう、と推量する。

+++++

個人的な見解に過ぎないが、さすがに、今回は、バイデン候補が勝利するのだろう、と予想している。

トランプ大統領の欠点は、この過去4年間の政策を見れば、明らかだろう。

ただし、ここでは文言としては、明記しない。

そして、トランプ大統領の欠点は、すなわち(イコール)、彼の長所である。

トランプ大統領を非難する人たち(=アンチ・トランプ)は、例えば、メキシコとの国境の壁を、分断の象徴と判断するだろう。

しかし、トランプ大統領を支持する人たちは、それ(分断そのもの)こそが、望んでいるものなのだろう。

その根底には、人間を差別することが潜在しているにもかかわらず、無意識に、それ(分断そのもの)を望んでいるのだろう。

トランプ大統領を支持する人たちは、自分たちだけが特別な利益を得たい、と考える人が多いように映る。

それを自分自身で理解しているから、表面上は、アンチ・トランプなのだが、実際にはトランプ大統領に投票する、いわゆる「隠れトランプ」が存在する。

+++++

だから、個人的には、正直なところ、トランプ大統領を支持することはできない。

つまり、個人的には、バイデン候補の勝利を望むのだが、最終的には、米国民に委ねるしかない。

米国民が、良識のある判断を下してくれることを願うばかりだ。

ただし、バイデン氏が、最良の対抗馬とは言えない点が、残念だ。

トランプ大統領を支持できないのならば、選択肢は、バイデン氏を選ぶしかない。

ただ、それだけだ。

+++++

(2020年10月27日東京時間14:50記述)